

アレルギー疾患の 漢方治療

大野クリニック 院長
大野 修嗣

【講師略歴】

大野 修嗣（おおの しゅうじ）

- 1947年 埼玉県比企郡生まれ
- 1973年 明治薬科大学製薬学科卒業
- 1980年 埼玉医科大学医学部卒業
- 1980年～1982年 同大学病院にて内科研修
- 1982年 同大学病院第2内科助手
- 1984年 埼玉医科大学膠原病外来 および 東洋医学外来担当
- 1990年 医学博士取得
- 1990年～1991年 中華人民共和国 山西省太原市
山西省人民医院中医科へ1年間留学
- 1992年 埼玉医科大学第2内科講師
(膠原病外来、東洋医学外来担当)
- 1996年 埼玉県比企郡にて 漢方 大野クリニック開業
- 2001年6月～2005年5月
日本東洋医学会 副会長
- 現在 大野クリニック院長
国際東洋医学会 理事
明治薬科大学客員教授
埼玉医科大学第2内科非常勤講師
日本大学医学部非常勤講師

学会活動

- 日本東洋医学会 評議員・専門医・指導医
- 日本リウマチ学会 評議員・専門医
- 日本アレルギー学会 功労会員
- 日本内科学会 認定内科医

専門分野

内科、リウマチ・膠原病、アレルギー、漢方医学

アトピー性皮膚炎 花粉症

↓

漢方はどう治す

大野クリニック
大野修嗣

2021年11月11日

1

アトピー性皮膚炎(AD)の起こるしくみ①

皮膚にはバリア機能がある

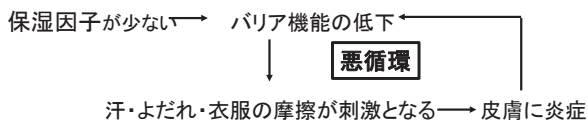
バリア機能=外界からの刺激物質を防御

アトピー性皮膚炎の発症はこのバリア機能が弱い
→皮膚の表面から水分蒸発→乾燥肌→刺激物質が入り込む

HD・ダニ・花粉・卵などのアレルゲンが入りアレルギーを発症
ADは単なるアレルギーではなく乾燥肌・敏感肌が要因の一つ
敏感肌なのでアレルゲン以外にも反応する

2

アトピー性皮膚炎(AD)の起こるしくみ②



☆最大の悪化因子は治っていない湿疹☆

皮膚の保湿因子 = 角質(角質細胞間脂質・皮脂膜・天然保湿因子)

角質細胞間脂質=セラミド(屋根の瓦と瓦の間のセメント)
皮脂膜=毛穴にある皮脂腺で作られる脂の膜(幼少期にはない→乾燥)
天然保湿因子=フィラグリン(蛋白質) → 皮膚炎で減少

3

肌の乾燥を防ぐ手立て

子供と女性は男性ホルモンが少ない

→ 皮脂分泌少ない → 皮膚乾燥

- ① 冬季には尻周り以外は石鹸を使わない
シャンプーは3日に1回
- ② 保湿剤の活用 = ヒルドイドソフト
- ③ 綿の靴下が禁物!
綿線維は吸湿性に優れているが蒸散性は劣る

4

ステロイド軟膏のウソ・ホント

○か×か?

- クイズ1 ステロイド軟膏を一度使用すると、やめられなくなる
- クイズ2 ステロイド軟膏を中止すると、リバウンドが起こる
- クイズ3 ステロイド軟膏を使用すると、骨がボロボロになる
- クイズ4 ステロイド軟膏を使用すると、ニキビやおできがでやすくなる

5

ステロイド軟膏のウソ・ホント

○か×か?

- クイズ5 ステロイド軟膏を使用すると、色が黒く残ってしまう
- クイズ6 ステロイド軟膏は皮膚に蓄積する
- クイズ7 ステロイド軟膏を長期間使用すると、血管が浮いて、皮膚が薄くなる

6

アトピー性皮膚炎の漢方治療

西洋医学的検査で確定診断

漢方医学的診断

虚実・寒熱・気血水
(治療方法の考案)

7

症例 28歳 女性 アトピー性皮膚炎

- 〔既往歴〕 小児期にアトピー性皮膚炎
- 〔現病歴〕 結婚して仕事と家事でストレス
4月からアトピー性皮膚炎が再発
ステロイド軟膏の使用が怖いと
- 〔漢方所見〕 肌は乾燥. 上背部に発赤・痒みを伴った皮疹
舌は黄白苔, 舌下静脈(++)
細数脈. 腹部の緊張良好

8

症例 28歳 女性 アトピー性皮膚炎

〔処方〕 肌の乾燥と炎症状態から **温清飲** を処方
軟膏は保湿剤のみ

9

温清飲 《万病回春》

〔生薬構成〕 地黄・芍薬・川芎・当帰 = 四物湯
黄芩・黄柏・黄连・山梔子 = 黄连解毒湯

〔何を治す〕 血虚：皮膚乾燥・貧血
月経に纏わる病態 } ≒末梢動脈の血流障害
血熱：慢性炎症 ≒皮膚炎・血管炎

〔臨床応用〕 アトピー性皮膚炎など**発赤・掻痒・乾燥**を伴った皮膚疾患・粘膜疾患

慢性色素性紫斑 血管炎 色素沈着 月経不順
神経症 更年期障害 ペーチェット病

10

症例35歳 男性 アトピー性皮膚炎に帯状疱疹合併

〔既往歴〕 アトピー性皮膚炎 SLE
〔主訴〕 右背部の水疱性皮疹
〔現病歴〕 プレドニゾロン減量中
一昨日から右背部に疼痛が出現
昨日から水疱性皮疹が出現

11

症例35歳 男性 アトピー性皮膚炎に帯状疱疹合併

〔処方〕 バラシクロビル処方
同時に水疱性皮疹、実証、疼痛 → **水毒・熱証**
を目標に **越婢加朮湯** 7.5g分3

12

越婢加朮湯

麻黄・石膏・蒼朮・甘草・大棗・生姜

〔保険適応病名〕 腎炎 ネフローゼ 脚気 関節リウマチ 夜尿症 湿疹

〔本来の薬能〕

麻黄・石膏 → 止汗 ≒ 腺分泌の制御 消炎
麻黄・蒼朮 → 利水止痛 ≒ 非生理的水分の吸収と組織の修復
甘草・大棗・生姜 → 補脾益気 ≒ 消化機能と免疫機能の改善

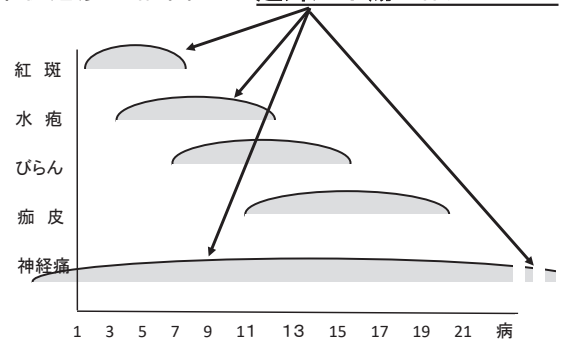
〔何を治す〕 炎症性関節炎 浮腫性紅斑 掻痒 水疱性皮疹

带状疱疹の水疱期に越婢加朮湯 → 带状疱疹後神経痛の回避

文献：井上剛 他. 越婢加朮湯の带状疱疹後神経痛に対する予防効果の検討. 日本皮膚科学会誌2018年
結果：越婢加朮湯投与65例中1例のみにPHNが発生した

13

带状疱疹の臨床経過と越婢加朮湯の作用ポイント



愛知医科大学医学部 皮膚科学講座 教授 渡辺大輔先生
大野改変

14

アトピー性皮膚炎の治療の実際

温清飲

白虎加人参湯 発汗・口渇

越婢加朮湯 水疱性皮疹

消風散 湿潤

清上防風湯 顔面のほてり

十味敗毒湯 化膿性皮疹

当帰飲子 冷え・乾燥

胃腸虚弱 **小建中湯** **補中益気湯** **十全大補湯**

15

症例 3歳 男児 掻痒感

〔生活〕 夜泣きがあり、偏食
〔現病歴〕 乳児期より全身に
掻痒感を伴った皮疹
〔身体所見〕 全身に発赤あり、
掻傷が目立つ
〔処方と経過〕 **柴胡清肝湯** と 保湿剤を処方
数年間の治療でほとんど皮疹が消失

16

柴胡清肝湯 一貫堂

〔生薬構成〕

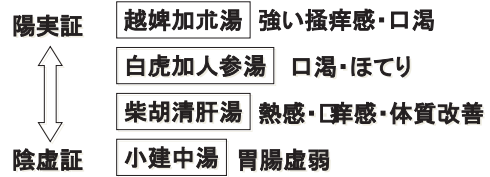
温清飲+柴胡・薄荷・桔梗・連翹・牛蒡子・瓜楼根・甘草
 (柴胡・薄荷・桔梗・連翹で消炎鎮静、消炎滋潤の瓜楼根
 排膿の桔梗、清熱解毒・疏散風熱・止痒の牛蒡子を加味)

〔目標〕 痛が強い幼児
 腹診:くすぐったがる

〔臨床応用〕 皮膚掻痒 幼児のアトピー性皮膚炎
 慢性扁桃腺炎
 上気道炎やリンパ節炎を繰り返す幼児

17

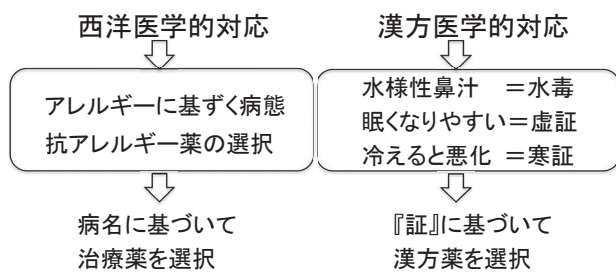
乳児・小児の漢方治療



治頭瘡一方 乳幼児の顔面頭部の皮疹
 (母親が服用)

18

アレルギー性鼻炎に対する西洋医学と漢方医学



19

花粉症に対する漢方薬は西洋薬の弱点を
 補って余りある！

1. 即効性は西洋薬を凌ぐ
2. 粘膜の乾燥および眠気がない
3. 体質・体力に合わせて選択肢が広い
 - 1) 麻黄剤が主流で動悸・不眠・胃部不快に留意
 - 2) 麻黄剤以外の漢方薬で麻黄の副作用を回避
4. 西洋薬との併用に問題がない
 - 1) 相乗作用が期待できる
 - 2) 併用によって西洋薬の副作用が回避される

20

症例 48歳 男性 主訴:くしゃみ

〔生活歴〕 トラックの運転手

〔現病歴〕 10年前からの花粉症
 アロロックで眠気
 点鼻薬, 点眼剤
 アレジオン(エピナスチン)を夕食後にしても眠い
 「眠くならない薬が欲しい」と

21

症例 48歳 男性 主訴:くしゃみ

〔処方〕 頑強な身体であるが、気は優しい
 エピナスチンはそのまま服用していただき
 基本的漢方薬の **小青竜湯** を処方

〔経過〕 2週間後 : 効果あり. 漢方薬の継続を希望
 6週間後 : エピナスチンが不要
 2ヵ月後 : 治療終了

翌年以後も同様の処方で経過

22

小青竜湯(傷寒・金匱)

〔構成生薬〕 麻黄・桂枝・芍薬・甘草・五味子・乾姜・細辛・半夏

麻黄・桂枝・五味子・細辛・半夏は温薬, 乾姜は熱薬 → 温める
 半夏・乾姜・細辛は燥性 → 水様性鼻汁・痰に対応
 半夏・麻黄・五味子 → 止咳(喘咳)作用
 芍薬・甘草 → 気管支の痙攣の抑制

〔使用目標〕 水様性鼻汁, 薄い喀痰を伴った咳(喘咳)

〔臨床応用〕 花粉症 感冒 気管支炎 気管支喘息

23

症例 62歳 男性 主訴:花粉症の治療

〔生活歴〕 高校野球の監督

〔既往歴〕 高血圧(アムロジピン)
 貨幣状湿疹(治頭瘡一方)

〔治療歴〕 セレスタミン・小青竜湯併用で
 ちょっと改善
 くしゃみ・鼻水で監督業のノックができない

24

症例 62歳 男性 主訴:花粉症の治療

〔漢方所見〕

望診: 筋肉質, 日焼けして健康そう

舌診: 舌質紅色, 齒痕(++)

舌下静脈(+)

問診: グランドに出ただけで

くしゃみ, 鼻水が止まらない

切診: 浮緊脈. 充実した腹力

= 体質, 体力, 病勢とも実証

25

竜虎湯

〔作り方〕 小青竜湯 + 五虎湯

〔適応〕 小青竜湯で効かない花粉症

留意: 麻黄が多い→食欲不振 動悸 不眠

〔竜虎湯も無効〕 大青竜湯

作り方: 麻黄湯 + 越婢加朮湯

留意: 麻黄が多いので1日2回が基本

27

症例 24歳 女性 主訴:花粉症

〔既往歴〕 生理痛に桂枝茯苓丸が著効

〔現病歴〕 2月に入り例年の花粉症の症状が発症した

市販のアレグラ(フェキソナジン)が効果なし

口腔乾燥, 頭がボーっとする

〔身体所見〕 160cm, 48Kg 血圧102/73mmHg, 脈拍82/分

咽頭発赤なし. 胸腹部に診察上は問題なし

29

症例 24歳 女性 主訴:花粉症

〔処方〕 激しい症状で小青竜湯無効, 竜虎湯も無効

→ 麻黄湯 と 越婢加朮湯 を合方
大青竜湯 とした

〔経過〕 1週間後: 1日3回でちょうど良い, と

麻黄の副作用が心配

でも

動悸なし, 胃の問題なし, 睡眠障害なし

31

症例 62歳 男性 主訴:花粉症の治療

〔処方〕

セレスタミンに小青竜湯を併用しても効果不十分

車の運転に注意と指導されてセレスタミン躊躇

体質, 体力, 病勢とも実証から

小青竜湯 合 五虎湯 とした

= (竜虎湯)

〔経過〕

眠くならない. 即効性もある

「こんなにピタリ効く薬は初めてだ」と

毎年, 2月から4月まで服用している

26

竜虎湯 《創作》

〔生薬構成〕 麻黄7 杏仁4 桂枝3 石膏10 桑白皮3 芍薬3 半夏6

細辛3 五味子3 乾姜3 甘草5 (小青竜湯+五虎湯)

〔臨床応用〕 咳・水様性鼻汁を伴った感冒 花粉症

〔鑑別〕 冷えが強い→竜附湯 (小青竜湯+麻黄附子細辛湯)

〔古典〕 ☆東医宝鑑《東醫寶鑑》に竜虎湯がある

「石膏2銭半, 柴胡・黄連各1銭半, 黄芩・知母・黄柏各1銭,
山梔子8分, 半夏7分, 粳米100粒, 生姜3, 大棗2」水煎服

☆古今医鑑にも竜虎湯がある

龔廷賢《古今医鑑》は《黄帝内経》から元明諸家の論まで
を収集する総合性医書

28

症例 24歳 女性 主訴:花粉症

〔漢方所見〕

望診: にこやかで非常に快活, 活動的生活

舌診: 齒痕(+), 薄白苔, 舌下静脈(+)

問診: 花粉症の症状が強い. 以前小青竜湯が無効

食欲旺盛. 胃腸系に問題なし. 睡眠は充分

切診: 数滑脈. 腹力良好, その他の所見なし

30

大青竜湯(傷寒論・金匱要略)

〔生薬構成〕 麻黄・桂枝・石膏・杏仁・生姜・大棗・甘草

(麻杏甘石湯合桂枝湯 麻黄湯合越婢加朮湯)

麻黄湯の麻黄・杏仁を増量

加 石膏・生姜・大棗

〔目標症状〕 強い悪寒・無汗・節々の痛み

くしゃみ・鼻水・目の痒み・流涙・咳

〔臨床応用〕 インフルエンザ・コロナなどのウイルス感染
花粉症の重症例

32

麻黄

麻黄科のEphedra sinica Stapf 常緑小低木

成分: /-ephedrine, /-N-methylephedrine, d-pseudoephedrine
ephedradineA, B, C feruloylhistamine タンニン

薬理: 中枢神経興奮作用, 発熱作用, 交感神経興奮作用
鎮咳作用, 抗炎症作用, 抗アレルギー作用

- 産地 : 中国東北部・モンゴルの乾燥地帯
- 味 : 辛・微苦
- 性 : 温
- 帰経 : 肺・膀胱
- 効能 : 解表・止咳平喘・利水消腫

症例 37歳 女性 主訴:花粉症

- 〔既往歴〕 不妊症治療 下腿の浮腫
- 〔現病歴〕 2月4日花粉症の症状が出現して耳鼻科受診
クラリチン(ロラタジン)が処方された
眠気が強くて服用できない
- 〔身体所見〕 155cm 52Kg 血圧102/76mmHg 脈拍82/分
胸腹部に異常所見なし

症例 37歳 女性 主訴:花粉症

〔漢方所見〕

望診: 体格良好. 顔色は色白. 舌質淡白色

問診: 以前, 花粉症に市販の小青竜湯を服用
「動悸と不眠で服用できない」と
冷え症. 下痢・便秘なし. 睡眠は十分

切診: 沈細脈. 腹力やや軟, 心下振水音

症例 37歳 女性 主訴:花粉症

〔処方〕 麻黄が使用できない
苓甘姜味辛夏仁湯 を処方

〔経過〕

2週間後: 花粉症の症状が軽快

排尿量が多く, 浮腫が軽快!

2ヶ月後: ヒノキにも敏感なのでとうとう1ヵ月分処方

次の年から1月になるとこの処方の服用を始めている

苓甘姜味辛夏仁湯

〔生薬構成〕 茯苓・半夏・杏仁・甘草・乾姜・細辛・五味子
小青竜湯から麻黄・桂枝・芍薬を省いて, 茯苓・杏仁を
配合することで利水・鎮咳の効果を保っている
麻黄が入らないのが特徴

〔臨床応用〕 麻黄剤不適の花粉症, 気管支炎, 気管支喘息

鼻炎の漢方薬

